



善正寺だより

掲示板法話

今が変われば 未来が変わる 今を変えれば 過去も変わる

(梯実円師)



〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

高速バスがサービスイリアでトラックと衝突して、運転手さんと乗客が死亡する事故が起こりました。バスの運転手さんの体調が急変してブレーキを踏むことができなかったのが事故の原因のようでした。痛ましいのはバスの最前列に乗っていて、運転手さんの異常に気づき、「起きろ、起きろ。大丈夫か」と運転手さんに声をかけ続けた乗客が運転手さんと共に犠牲者になったことです。

この事故を聞いて、毎日のように電車やバス、車に乗って出かける自身身の無事が『あたり前』でないことに改めて気づかされました。私も毎日のように有名人や知人の訃報を耳にしますが、「自分は若いから」とか「健康に気を付けているから」とか言っていて、「他人事」で済ませ、情性で日々を空しく過ごしています。だが、『あたり前』が『あたり前ではない』いのちだと気づくとき、今までと違った世界が見えてきます。今が変わることにより未来(の道)が変わるのです。過日、門徒推進員中央教修を受けて

帰ってこられた方が「(研修に)行ってよかったです。『一人で生きてきたのではない。お蔭さまの中で生かされてきた私』だと教えられました」と感動のご報告をされました。そして、周りの人たちにも教修を受けることを勧め、「できれば私も(スタッフとして)何度でも中央教修の法座に参加したい」とまで感動の余韻を語って下さいました。

いのちの尊厳性は意識しようがしまいが変わるものではありません。だが、二年間の連続研修やご本山での中央教修の積み重ねにより、智慧の光に照らされたわが身が『生かされているいのちだ』と発見されたのです。その目覚めが過去を見直す契機となり、今まで見えなかった「おかげさま」が見えてくるご縁となるのです。

四月はご承知のように、お釈迦さま誕生の月です。お釈迦さまが王位を捨てて求められたのは生老病死の根本的な苦しみを解決する道であり、それは「縁起のいのち」という道理への目覚めによって乗り越える道です。

☆行事ご案内☆

初参式・降誕会 (ごうたんえ)

4月19日 (土) 午後1時半

講師：加藤幸子先生・ 主催：三全仏教婦人会

◇4月の門信徒会例会

4月20日 (日) 午後7時半より

5月総会への準備、新旧の行事さんお集まり下さい！
新行事長(門信徒会会長)、新会計の役割分担決めます

◇キッズサンガ ※都合により1週間早めにします

3月29日 (土) 午後4時お経、ゲーム5時の鐘つきは毎日、善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が閲覧。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。寺の日常を公開開設5年8か月で13万9千訪問、コメント、悩み相談、大歓迎！

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話
15冊目の新刊本『お念仏申してごらん』発売中800円

※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日に決定！

※4月19日 (土) 午後1時半「初参式」一生の思い出に！
赤ちゃん、幼児を大募集！千円、写真、数珠、記念冊子授与。
奮ってご参加下さい！我が孫二人も受式、一緒にどうぞ！

※3月20日 (木) 夜7時三全仏教婦人会総会 (光念寺様で)



キッズサンガ (土曜学校)



毎夕5時の鐘つき風景



かるた取り・百人一首に興ずる子供たち



「今が変われば未来(の生き方)が変わる」「今を変えれば(苦悩の)過去も(無駄でなかったと)変わる」のだと教えられました。

今月の写真アラカルト



坊守スケッチ

子供時代の思い出が命を救った



先日、ある研修会で知り合った遠方の坊守さんから聞いたお話です。

私が坊守をして一番嬉しかったことは、人の命を救ったことです。門徒さんの娘さんで、嫁いで間もない女性。彼女は実家のお墓の前で自死しようとして決意してやってきました。お墓に長い時間佇んでいるので不審に思いました。事情を知らない私は、彼女の沈んだ様子に、何気なく「庫裏でお茶でも如何ですか？」と声をかけました。「私、子供の頃、このお寺のお稚児さんに出た思い出があるのです」と、ぽつりと一言、応えました。

「それなら二〇年ぶりに本堂の阿弥陀様に一緒にお参りしましょうか？」と誘いました。彼女は素直に付いてきました。長い沈黙の後、丁寧に阿弥陀様にご挨拶のお参りをしました。「私は今日あなたとゆっくりお話できない。今から別院へ行かなければならないの。有難いご法話が聞けるから、もし時間に余裕があるならば、一緒に行かない？きつと心に残るお話が聞けるわよ」と、彼女を強引に誘いました。勿論彼女は仏教のお話を聞くのは、生まれて初めての経験。それ以後よほど心に響いたのか、あちこちの

お寺のご法話を聞く機会を見つけては、出かけるようになりました。

後日、彼女からお墓の前での詳しいいきさつを聞いて、私は驚きました。御稚児さんの思い出、私の何気ない一言という偶然が重なったとはいえ、一人の人間の命を救ったのです。そしてそれがきっかけとなって、有難い聞法者が一人誕生したのです。

「これも私がお寺に嫁いだおかげ！」と晴れやかに話してくれました。

この話を聞いて、私は坊守の役目は重大だと感じました。特に子供時代にお寺で体験したことは、生涯忘れることのできない貴重な思い出！時には命を粗末にすることを思い止まらせることもあるのです。大人になって壁に突き当たって一人で悩んでいる時、「あの懐かしいお寺へ行行って心を空っぽにしてみよう。またイチから直す機会にしてみよう！」と思い出して頂ければ、最高に嬉しいことです。毎日夕方5時の鐘つきにやってくる子供達。当初は「褒美のガム目当てかもしれないませんが、本堂に向かって一緒に合掌・礼拝する姿を見るにつけ、現代っ子も捨てたものじゃないと確信しました。ある母親が「私達の時代の

ように、もうカレーパーティーや人形劇の集いはありませんか？」と尋ねました。20数年前の子供が多かった頃、大きなイベントをしましたが、少子化の現在は、『いのちの大切さ』『ありがとう』『ごめんなさい』が素直に言える子供の成長を願い、お手伝いする活動を、微力ながら続けたいと思います。

☆寄稿

四日市市 釈俊悦
寺の屋根 眺めていつも 床に就く
よくぞ続けり 五十年
姫路 釈貞芳

☆赤ちゃんは この世に生まれ
歳よれば 仏となりて
浄土に生まる

Eさんのいいもの紹介

☆寺見ゆる 己が住まいは 一等地
(福井県 三輪輝二さん)
☆二カ寺見ゆ 我が住まいは 特等地

※三輪氏の句を模してEさんが対句を作成。小杉二カ寺が見えるEさんの家は、まさにこの世の特等地！毎晩両寺の火の元を確認してから就寝。50年に渡るEさんの見守りのおかげで今まで無事過ごせました。感謝申し上げます。(坊守)

ホットニュース

☆本堂内陣格(こう)天井工事、屋根瓦一部修復工事が終了しました。3月15・16日の永代経より公開。長い間ご不便をおかけしました。永代経参詣時にはご覧下さい。



☆4月19日(土)午後、『初参式』を受ける赤ちゃん、幼児を大募集！三全仏婦主催。会費千円。記念冊子、写真、子供用数珠、赤飯など進呈
子供の誕生を地域の皆でお祝いしましょう。よき思い出作りにご参加を！
☆境内経堂を改装して、お問い合わせご要望の多い新納骨堂としてリニューアル。完成しましたらご案内します。

三重組コーラス

4月12日・13日、智積西勝寺様『親鸞聖人750回忌法要』。初日わが孫も御稚児さんの行列に参加。

お悔やみ申し上げます

★水井千代子様(76歳四日市・合掌)

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」二四四号をお届けします。◇近年まれな寒い冬が続く、大雪の被害も各地で発生しました。◇でも雪下ろしや、復旧など厳しい気象条件の中で働いて下さる人々のお蔭、非常食を配達する人々の温かな話題にほっとするご縁もありました。◇花開く春、新たな出会いの春。生死無常のお互いだからこそ、頂いた今日の命を大切に、と思う春です。

本堂内陣の天井工事が無事終了しました。三月の永代祭から一般公開です。長い間ご不便をおかけしましたこととお詫び申し上げます。極楽浄土をイメージした阿弥陀様の安置場所にあふさわしい仕上がり、御参詣の折にはぜひ一度ご覧下さい。本堂再建が江戸末期の文久貳年という駒札が出てきました。三代前の住職、猛言師の時代です。百五〇年もの間、戦争や風雪に耐えて老朽化、放置されたままでした。二年半後の親鸞聖人七五〇回忌法要を記念して修復できましたことは、私達にとっても大きな喜びです。今後も開法のお寺として、恥ないようにながら精進に励みます。先日渡り廊下の天井裏も掃除していたら、家紋入り七漆塗りの大きなおふみ箱が出てきました。中から手紙や日記の類、香典帳に夜伽見舞、病氣見舞や結婚祝、誕生祝の名簿が毛筆で和綴りの帳面に記されています。この名前はお〇〇のご先祖様と住職の説明。檀家さんは勿論のこと、それ以外のゆ名前も多数ありました。ご先祖様がご縁を疎かにしないようにと子孫の為に書き遣してくれたのです。見舞の品も卵や砂糖といった今なら想像もできないものばかり。でも大切なことはモノではなく心！古いおふみ箱から受けただご恩を知り、先祖のおのりを感じかせて頂きました。今後とも先祖が築いたご縁の系を大事にしたいと思っております。四月十九日、仙傳主催の初参式の赤ちゃん幼児を大募集中です。新しいのちのスタートに仏縁を結んで頂き、地域の皆様と共に誕生をお祝いいたします。よう奮ってご参加下さい。合掌

平成二十六年四月

善正寺坊守 拝